

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS

令和5年
第1回 定例会

会期：2月8日～3月14日の35日間

目次

- 代表質問…………… 2面
- 一般質問…………… 3～5面
- 定例会活動報告…………… 6～7面
- 予算特別委員会…………… 8面
- 本会議における討論等…………… 9～11面
- 議案の審議結果等…………… 12面



No.263 令和5年4月25日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

トップニュース

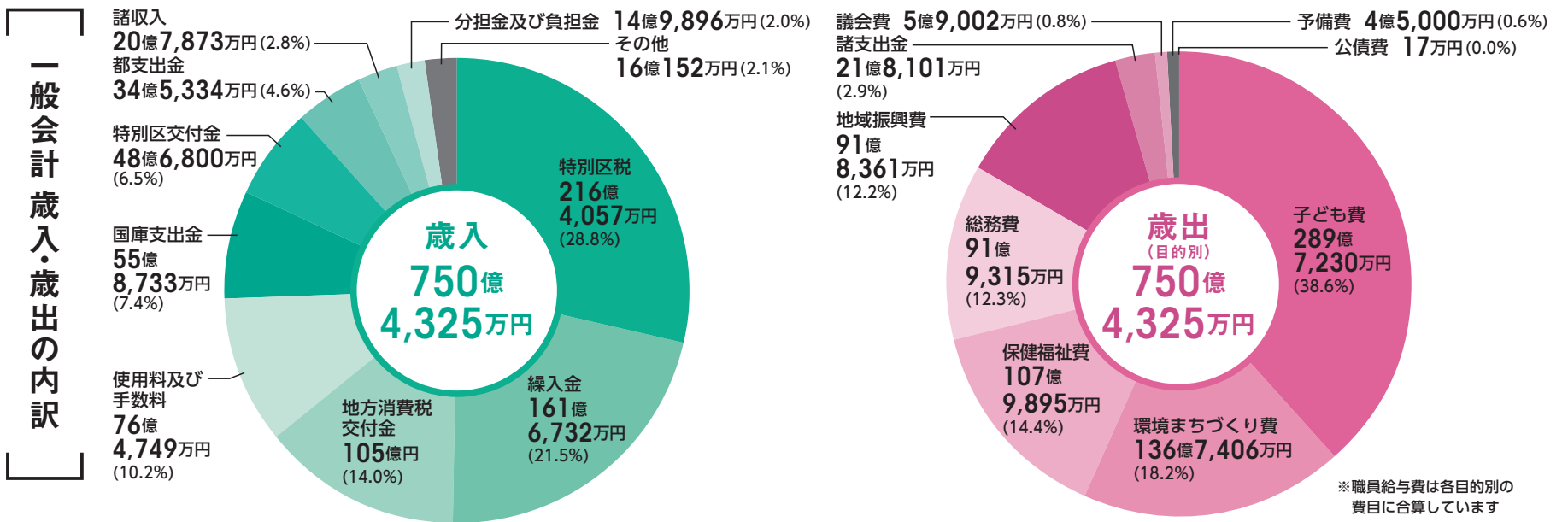
TOP NEWS

令和5年度

千代田区一般会計予算を可決しました

総額 750億 4,325万 2千円

前年度当初予算に比べて、8.5%、58億6,588万8千円の増額となります。



予算が決まるまで

区の1年間の仕事に必要なお金は、新年度が始まる前の本会議で決定されます。区長が、税金などのお金をどのように使うかをまとめた「予算案」に対して、議会が内容を審査する「予算審議」を行います。

予算特別委員会 委員長報告(概要)

令和5年度当初予算4議案は、全議員で構成される予算特別委員会を設置し、審査しました。委員会では、概要説明を受けたのち、企画総務、地域文教、保健福祉の3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査を行いました。本委員会においては、分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え、採決に入ったところ、当初予算4議案は賛成多数で可決すべきものと決定しました。

1

議案(予算案)提出

区の当初予算案が確定すると、第1回定例会で、区長から議案として提出されます。



2

議案付託

提出された予算案は、予算特別委員会設置後、同委員会に付託されます。「委員会に付託」とは、議決に先立ち、所管の委員会に議案等の専門的な審査や調査をゆだねることです。



3

予算特別委員会

予算審査のため特別に設置される委員会です。千代田区では、さらに常任委員会別の3つの分科会を設置します。そこで、予算案を詳しく審査し、委員会として意思決定するための表決を行います。



4

委員長報告

委員会での審査結果を、委員長が本会議で報告します。



5

議決

本会議で賛成か反対のどちらかに議会の意思を決定する議決を行います。予算を可決すると、区の「当初予算」の成立となります。



6

予算成立・執行

予算が成立すると、4月から執行が可能になります。年度途中で変更が必要になった場合は、「補正予算案」が組まれます。



Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田区議会 自由民主党 小林 やすお



令和5年度予算は、区民生活を支える内容か

問 物価高騰に対しては我々の会派の要望を受け、所得制限なしで子ども1人につき5万円の給付事業が予算化され、実施段階にきた。コロナ禍からの復興や物価高騰等、社会経済状況が目まぐるしく変わる中で、5年度予算は区民生活を支える内容となっているか。

答 带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成やレシート活用事業等、区民生活や健康維持を支援する新たな取り組みを実施予定の予算となっている。所得制限なしの次世代育成手当も継続して実施する。

新型コロナウイルス感染症の今後の対応について

問 2類相当から5類へ移行することで、区には、どのような影響や課題があるのか。また、今後の区の感染症対策はどう変わるのか。

答 国や都の具体的方針に迅速かつ柔軟に対応し、正確な情報の周知に努める。今後も、これまでの基本的な感染症予防策が有効。

区のDX推進の成果と課題は

問 ①DX推進の取組みの成果について、どのような認識か②デジタル文化の街、秋葉原を有する当区はDX推進を一層加速すべき。

答 ①本区のDX戦略で顧客志向の追求と行政内部の変革を基本理念にさまざまな取組みを進めて、成果は出ている②eスポーツイベント開催支援事業等、地域特性を生かした取組みも行っていく。万世橋交差点



日本共産党区議団 木村 正明



戦争国家づくりと地方自治は相容れない

問 国の敵基地攻撃能力保有と大軍拡は本区の平和都市宣言の理念と相容れない。地方自治を守る立場で安保3文書の撤回を求めるべき。

答 宣言の理念の下、平和事業を積極的に実施。基礎的自治体の地域発のさまざまな取組みこそが世界の恒久平和につながると考える。

デジタル化と個人情報保護強化は一体で

問 個人情報の無断提供やクラウド移転を防ぐ制度的保障は。自治体の情報システムをクラウド化するならば国外移転禁止は不可欠。

答 個人情報の外部提供は以前と変わらず、権利利益を不当に侵害

する場合は禁止。地方公共団体情報システムで利用するクラウド事業者は日本国内法が適用され、データセンターも国内に限定。

コロナ感染症5類引き下げで公的責任後退させるな

問 5類移行で医療費の負担増、診療報酬上の特例措置や病床確保料等の見直し、PCR等の一般検査事業の終了等、各種コロナ対策の施策が縮小、段階的廃止が進められようとしている。これは区民の命と健康を守る公的責任の後退にならないか。必要な対策について継続・強化するよう国と都に求めるべきと思うが見解は。

答 国や都の方針に迅速柔軟に対応し、正確な情報を区民に周知する。また、移行措置のさまざまな課題について国や都と共有している。千代田保健所

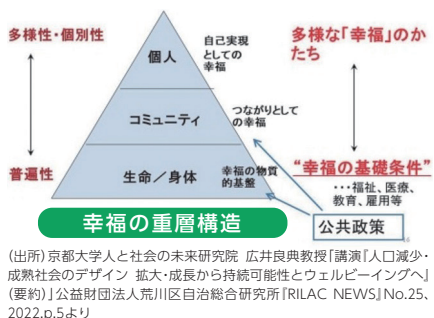


公明党議員団 大串 ひろやす



持続可能性とWell-Beingを柱とする指針策定を!

問 経済成長は必要だがGDPのみを指標とした限りない拡大や物質的な豊かさのみを追求する時代ではなくなった。若い方や将来世代のために持続可能性、またWell-Being^{*}を指標として加えた将来ビジョンが求められている。そこで、新たな基本構想を補完すべく持続可能性とWell-Beingを柱とする区政運営の指針策定を提案する。



※ Well-Being: 幸福で肉体的・精神的・社会的に全てが満たされた状態のこと。

まちづくりを進める際の「適正な手続き」とは

問 「プラットフォームのあり方」では、これまで都市計画法など法令に定められたまちづくりはその手続きに沿って、法令に定めのないまちづくりは区の「参画・協働のガイドライン」に定められた手続きを準用し合意形成を図ろうとしてきたが、区は今後、まちづくりに特化した仕組み・手続きが必要と述べている。そこで、その特化した手続きとは具体的にはどういうことか。

答 現手続きに加えてよりきめ細やかな手続きが必要。関係者が持つ情報の量・質が均質になるよう、情報共有の徹底を図り、議論の場の形成や意見の整理等についても、手続き・手法等を検討する。

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

池田 ともり (自民)



食を通じたコミュニティの醸成

問 ①地域コミュニティの再生に「食」という、誰をも引きつける視点を踏まえ、さまざまな方が集える多世代交流の場が最適と考える。行政として真剣に考える大切な時期ではないか。区の見解は②区民館を活用する等、出張所を中心とする行政との連携で地域コミュニティの醸成につながる。多世代交流の場を試行しては、区役所食堂で区内飲食店支援の観点から販売した弁当の検証と併せて区の見解は。

答 ①主体は地域の方々であり、行政主導や地域団体依存は慎むべき。一方、これまでと異なる取組みが求められていると強く認識②弁当販売では好評の声がある一方で課題も提起された。地域コミュニティの醸成を目的に、各出張所で地域と共に検討していくことは時間を要する。しかし、目的にかなう取組みを検討すること自体が地域コミュニティ醸成につながると信じ実施に向け歩を進めていく。

米田 かずや (公明)



部活動の地域移行について

問 部活動は子どもたちの健やかな成長を促す①休日の部活動の地域移行をどう捉え、推進するのか②平成29年に制度化された部活動指導員の成果と課題は。

答 ①早期の実現を目指し、地域団体等の協力を得る体制づくりを推進②専門的指導の機会確保等で一定の成果あり。外部人材へ教育的意義の理解・啓発は必要。

今後の風ぐるまについて

問 利用者の増加を受け、逆方向・増便等による課題解決、ルートやダイヤのマイナーチェンジ等、利用促進に向けた取組みは。

答 朝夕の一部時間帯の増便や、イベント等に対応した臨時便の運行等に取り組む。



風ぐるま

飯島 和子 (共産)



国民健康保険料の負担軽減

問 国民健康保険料の負担は被用者保険と比べて高い。区独自助成として①18歳までの均等割保険料の助成②コロナ禍以前と比べて収入減の事業者へ助成を求める。

答 ①被保険者全体の相互扶助の観点からも実施は困難。子育て世帯へは医療費無償化等のさまざまな支援を実施中②事業者の減免制度は国基準により全国一律に減免。区独自の助成は公平性の観点から不適切。納付相談等で個別に対応を行う。

福祉施設の指定管理者変更

問 福祉施設の指定管理者の選定に当たり、職員の変更を少なくするため①労働環境を重視②選定委員会の議事録公開③職員の平均年齢や離職率等の把握を求める。

答 ①ガイドラインに沿って事業者を選定し運営②情報公開条例の非公開情報を含む場合もあり慎重な検討が必要③民間の主体性を尊重しつつ適切な把握に努める。

牛尾 こうじろう (共産)



物価高から生活や営業の支援を

問 食料品高騰や電気代値上げで多大な影響を受ける区民への支援として①生活困窮世帯への直接給付や見舞金②事業者への電気代高騰分に対する支援金③今こそ学校給食無償化を英断すべきとき。

答 ①すでに各種給付金を支給しており、追加の支給は公平性の観点から難しい②引き続き企業課題解決のための改革を支援する③一自治体に依存する問題でなく、国が全国的に実現すべきものとする。

子どもの遊び場拡充について

問 今ある遊び場や公園の拡充・活用として①「ふじみこどもひろば」の平日開放を求める②子育て世代や地域住民等と公園の使い方を協議する場を設置しては。

答 ①貸主である国との交渉を検討する②「子どもの遊び場推進会議」での議論を踏まえ、新たな遊び場確保に取り組み、子育て世代のニーズに応えていく。

林 則行 (自民)

(自民)



人生100年時代の施設と在宅介護

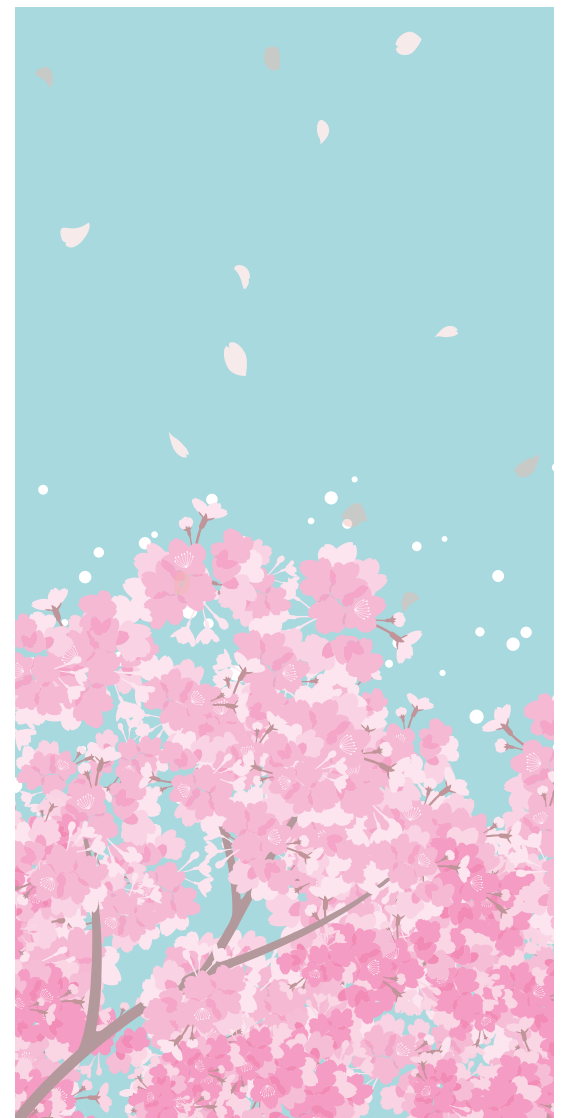
問 ①健康寿命の延伸に向けた対応策は②地域包括ケアシステム構築の進捗状況は③医療・介護の連携を強化し、地域における支援体制を整備する上で区の役割は。

答 ①フレイル対策を最優先に介護予防事業を展開②高齢者総合サポートセンターを拠点として各種サービスの充実を図ってきた③区独自の介護支援策を展開し、区内医療機関との連携を一層深めていく。

マンション管理適正化推進計画

問 ①計画改定に向けた取組みは②防災対策における町会等の地域とマンション管理組合との連携強化について区の見解は。

答 ①令和6年度中の改定を目指して分譲マンション実態調査を行い、管理組合等の声を踏まえて住宅基本計画改定検討会で検討②災害時における相互扶助の観点からも連携強化は重要と認識。地域との情報共有の支援のあり方を検討していく。



Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

西岡 めぐみ (自民)

(自民)



「こども家庭庁」創設・本区体制

問 こども家庭庁が創設。こども基本法に則し、今後は子どもから「ボール遊びや自転車等ができる公園を作ってほしい」との意見があれば、積極的に課題や改善方を検討し、研究する必要がある。全庁的に子どもや若者の声をどのように政策反映するのか。子どもの医療・保健・療育・福祉・教育を一元的に所管できるよう、行政の縦割りを克服し、本区でも「こども家庭センター」設置を検討してはどうか。

答 こども家庭センター設置検討の中で一元的な施策展開の実施体制構築に努める。

横断歩道設置等でリスク回避を

問 横断歩道や信号機設置等、周辺住民の意見を反映し、居住環境の満足度向上を。横断歩行者数や交通量等を総合的に判断した上、警察や公安委員会と連携し、交通環境の変化や危険リスクを調査すべき。

答 ワンストップ窓口を周知し、改善する。

小枝 すみ子 (声)

(声)



対立でなく夢を語りあえるまち

問 ①都市計画は国の運用指針どおりに推進を②不信感が重なる過去の事例の連鎖への認識は③新基本構想の下で住民の権限拡大の可能性は④まちづくりは情報公開・参画協働・調整力が重要。認識は。

答 ①指針を尊重している②不適切との指摘は当たらない③適切に区民参画を推進④適切に実施しており今後も更に検討。

屋上菜園ネットワーク化を

問 屋上菜園の①区有施設への設置、区民への無料開放の増設②ネットワーク化は。

答 ①課題も含めて研究。民間開発の事前協議で誘導②エリアマネジメント団体の連携の中でネットワーク化を検討。



屋上は可能性に満ちている

岩佐 りょう子 (立憲)

(立憲)



育児と仕事の両立支援について

問 共働き世帯・ひとり親世帯が増加して、各家庭の状況によっては既存制度だけでは育児と仕事の両立が困難な家庭がある。あと一步の細やかな支援により、働く保護者の更なる負担軽減を。区の考えは。

答 仕事と子育ての両立支援は重要施策であり、社会全体で取り組むべき喫緊の課題と認識。今後も、子どもが誰一人取り残されることなく将来にわたって幸福生活を送ることができるよう、「子育てしやすいまち」の実現に向けて尽力する。

おむつのサブスクを導入しては

問 きめ細やかな支援として、保護者と保育園の負担軽減の観点から、おむつのサブスクリプションサービス導入の検討を。

答 導入に向け、どのようなサービス内容が保護者の負担軽減につながるか検討中。保管場所の確保やメーカーの選定、事業者との取決め等、引き続き準備を進める。

長谷川 みえこ (紡ぐ会)

(紡ぐ会)



障害者福祉について

問 ①「愛の手帳」所持者で、区外事業所の利用者がいる理由や状況の把握は。誰一人取り残さない支援の提供について、区の考えは②緊急時対応が必要な場合、夜間・休日の連絡、支援体制の構築状況は。

答 ①区内事業所は限られているが、就労支援の選択肢多様化に努めている。令和6年度からの次期障害福祉プランに向け支援のあり方を検討②夜間・休日の緊急連絡は電話相談等により対応。「モフカ」でも相談を受けている。令和5年度はショートステイの体制整備も行う。

さくらキッズ事業拡充

問 利用者数の増加が見込まれる。必要に応じた療育が受けられるよう職員増員や重度障害児等の通所型療育が必要では。

答 これまでも職員増員等を実施。今後は、児童発達支援センターの新設検討や放課後等デイを行う事業所の定員拡大を支援。

小野 なりこ (都ファ)

(都ファ)



子どもの成長を支援する制度

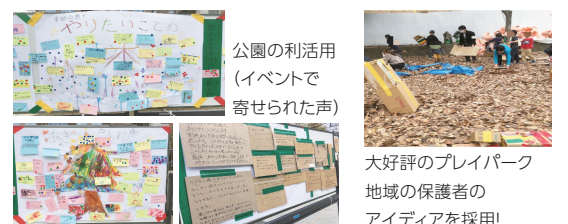
問 ①発達支援制度や情報可視化の進捗状況は②「生きる力を育む教育」のため現場への支援策は③公民学連携による学びの支援として場所の提供等を検討しては。

答 ①ガイドブック等で情報発信。今後は区独自ポータルサイトにより一人一人に合った情報を提供②ICT活用の指導・助言等を実施③直ちに場所の確保は困難だが、本区の提案制度等を活用し研究を進める。

公園の利活用の方向性

問 ①ドッグラン常設について区の見解は②インクルーシブな公園の検討状況は。

答 ①設置の可能性を検討②遊具の設えや、誰もが楽しめるイベントづくりを検討。



Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

岩田 かずひと (立民)



公聴会後の区の進め方は

問 ①二番町再開発の公聴会を終え、区民の反応と今後の区の進め方は②外神田一丁目の説明会・公聴会では多くの意見が出されたが、その懸念を払拭できるか。

答 ①区で初の公聴会はさまざまな指摘をいただいた。今後、所管委員会での議論等を踏まえ、開催のあり方を検討。また、都市計画法第17条に基づく手続きに移行する予定②区議会所管委員会での調査や議論、集約を踏まえ、本件の進め方を決定する。

神田警察通りについて

問 約束を破り、突然、街路樹伐採を強行した信義則違反についての考えは。寒空の下、高齢の女性が木に寄り添って座り込み、訴えるしかない姿をどう思うか。

答 関係法令に則り適切に進めてきた。工事執行停止の法的義務はなく、公共利益優先で整備作業を進める。木に寄り添う行為は工事への妨害行為と認識している。

嶋崎 秀彦 (自民)

(自民)



お茶の水、和泉、番町の学校施設整備について

問 小学校学級編成の標準が35人になる。本区は児童数が急増し普通教室不足のみならず、教室数・面積も不十分となっており、新たな基準に基づく整備が必要①お茶の水小・幼稚園の竣工日程は。多額なコストの検証は②和泉小・いずみこども園は和泉公園との一体的整備を③番町小・幼稚園整備は和泉小・こども園と同時並行し仮校舎移転を伴わず整備すべき。

答 ①令和5年12月中旬に竣工予定。体育館等を地下に配置することで工期や費用が増加したため、今後検証する②一体的整備に向け関係部署と連携して進める③並行的な整備に向け、積極的に取り組む。

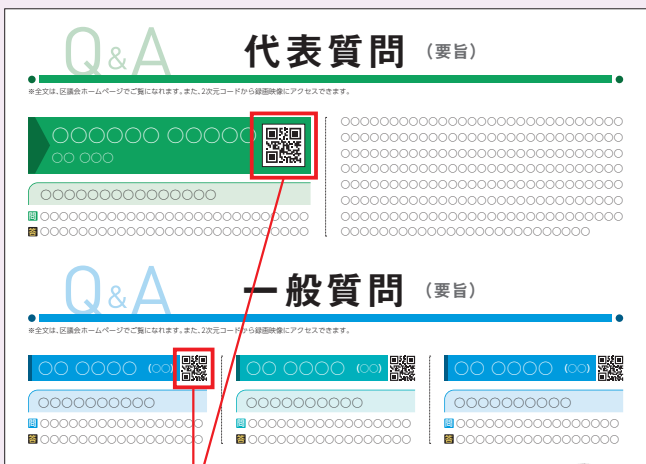


工事中のお茶の水小学校



2次元コードから代表・一般質問の録画映像がご覧になれます。

代表・一般質問のページに2次元コードを表示しています。スマートフォン・タブレットの端末等で2次元コードを読み取ると、各質問者のインターネット中継の録画映像がご覧になれます。



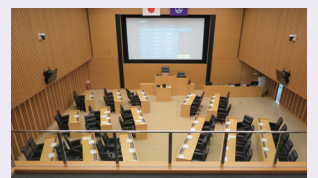
こちらの2次元コードをスマートフォン・タブレット端末等で読み取ると、録画映像がご覧になれます。



本会議・委員会を傍聴してみませんか？

本会議や常任委員会、議会運営委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴することができます。

千代田区議会HPで日程をご確認の上、区役所8階の議場傍聴席、委員会室へお越しください。



本会議の傍聴はインターネットでも！

インターネット中継

千代田区議会HPの「インターネット中継」で本会議の生中継及び録画視聴が可能です。右の2次元コードや区議会HPからご覧ください。



文字(字幕)配信

インターネット中継の音声聞こえづらい方のために本会議を文字で生配信しています。右の2次元コードや区議会HPからご覧ください。



定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案12件、議員提出議案1件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は12ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

議案6件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区第4次基本構想」は、千代田区第3次基本構想を廃止し千代田区第4次基本構想を策定するため、「千代田区議会の議決に付すべき事件に関する条例」第2条の規定に基づき、本案を議会の議決に付すものです。また、**「千代田区行財政改革に関する基本条例を廃止する条例」**は、千代田区第3次基本構想とともに制定した「千代田区行財政改革に関する基本条例」を千代田区第3次基本構想の廃止に伴い条例を廃止するもので、公布の日から施行します。

関連する議案であるため、一括して審査しました。

〈審査経過〉

千代田区第4次基本構想は、千代田区第3次基本構想の策定から約20年が経過し、新型コロナウイルス感染症等によって区を取り巻く状況が大きな転換期を迎えている現状を踏まえて、千代田区の将来像を示したものであること。基本構想は、行政運営の基本となる指針であること。基本構想の策定に当たっては、区民や学識経験者で構成する懇談会を設置するなどし、多くの方々から意見を伺ったこと。基本構想に掲げる将来像を実現するために、区民に対する情報発信を適時適切に行い、区民の区政への主体的な参画を推進するとともに、さまざまな意見を尊重し理解が得られるよう、しっかりと取り組むこと。基本構想を策定して終わりではなく、構想どおりに行政が運営されて初めて基本構想を策定したことの意義があり、基本構想の理念を

具体的な取組みに反映させ実行することが重要であること。基本構想に掲げる将来像の実現を目指すための「将来像に向けた方針」では、各施策の中期的な取組みの方針を示すとともに、毎年の予算編成の際に、区民等を取り巻く環境の変化を的確に捉え、その認識や考え方の不断の見直しや更新を行うことで、変化の激しい社会に対応するものであること。基本構想の推進のために、効果的・効率的な行財政運営に努め健全財政を確保するとともに、財政状況等について公表し、透明性を確保することなどが明らかになりました。

その他、**「千代田区手数料条例等の一部を改正する条例」**等の5議案を審査しました。



常任委員会

地域文教委員会

議案5件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区印鑑条例の一部を改正する条例」は、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、個人番号カードを利用して行う印鑑登録証明書の申請について、移動端末設備であるスマートフォンの利用も可能とするほか、従前設置していた窓口受付システムの端末を廃止し、印鑑登録証明書の交付機能を有する多機能端末機を総合窓口課及び出張所に設置するものです。

〈審査経過〉

スマートフォンにマイナンバーカードと同じ情報を登録しても、マイナンバー

カードを利用するときと同じセキュリティ対策が取られているため、情報が漏れるような危険性はないこと。従前設置していた窓口受付システムは、マイナンバーカードを利用するシステムであり、それを廃止する前提として、多機能端末機を設置すること。マイナンバーカードをお持ちでない方は、今までどおり窓口で申請していただくこと等が明らかになりました。

また、**「千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」**は、厚生労働省令「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、家庭的保育事業所等における安全計画の策定等、自動車を運行する場合の乳幼児の所在確認義務、及び感染症等予防のための研修等実施に関する規定を新たに追加し、家庭的保育事業所等を利用する乳幼児に対する懲戒に関する規定を削除するとともに、

規定を整備するものです。

〈審査経過〉

家庭的保育事業等とは、地域型保育事業の中に含まれ、区内に7か所あること。今回の改正内容は、国の省令に基づき全て一律であり、施設の認可者が責任を負うこと。地域型保育事業は区の認可であるため、主に国が定める標準的な安全計画等を策定していくこと。今回国から示された安全計画は園で基本的に行っている内容で、指導検査等で区の職員が確認していること。園運営の中で行っている安全管理を条例に明文化して強化し、しっかり運営していくことなどが明らかになりました。

その他、**「千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例」**等の3議案を審査しました。



定例会活動報告

常任委員会

保健福祉委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

【議員提出議案第1号 千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例】は、子に係る保険料の被保険者均等割額を免除するため、条例を整備するものです。

〈討論〉

【反対の意見】

現行制度で子どもの均等割をなくすことが加入者の中で公平性を保てるか、今は判断しづらいため反対する。(米田)

区は子育て世帯へさまざまな施策を総合的に展開している。本議案の軽減策は国で改善すべきものと考え反対する。(河合)

制度の持続可能性や所得制限を設けず均等割を零にする影響など、今後、国民健康保険運営協議会の場で議論する必要がある、反対する。(岩佐)

あり、反対する。(岩佐)

【賛成の意見】

区には継続的な子育て支援が求められており、本議案はコロナ禍の厳しい状況を抱える世帯への支援になるため、賛成する。(長谷川)

現在の国保制度は、均等割の仕組みが構造的におかしい。区として、子育て支援のでき得ることは全て取り組む姿勢が必要であり、賛成する。(飯島)

【議案第17号 千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例】は、国民健康保険事業の安定的運営のため、保険料率、賦課割合及び賦課限度額を改定するとともに、保険料均等割額の減額措置対象者を拡大し、出産育児一時金の支給金額を引き上げるほか、非自発的失業者に係る国民健康保険料の軽減の届出に関する規定を改めるものです。

〈討論〉

【反対の意見】

国民健康保険は制度設計から見直す必要がある。現在の物価高騰を鑑みると、均等割額を現状維持もしくは引き下げてほしいという思いがあり、反対する。(飯島)

【賛成の意見】

区は独自保険料を設定し、加入者の負担感を極力抑え、特別区の統一保険料よりも低い料率にしている。また、均等割額の引き上げも最小限に抑え、区の努力は評価できるので賛成する。(西岡)

現状、賦課割合の著しい偏りが生じていることから、均等割額の引き上げはやむを得ない措置である。他区の状況に比べ、保険料の総額も引き続き低額となっている実態から、区の保険料抑制努力を評価し、賛成する。(河合)

特別委員会

環境・まちづくり 特別委員会

外神田一丁目南部地区のまちづくり、二番町地区のまちづくり、六番町偶数番地区のまちづくりの報告があり、あわせて、陳情審査が行われました。また、外神田一丁目南部地区のまちづくりについては、学識経験者2名への参考人意見聴取も行われました。

その他、九段南一丁目地区のまちづくり、神田警察通り周辺まちづくり方針(案)の報告がありました。

公共施設調査・ 整備特別委員会

当委員会で調査研究する各施設のうち軽井沢少年自然の家について、前回の委員

会での中間報告に対する意見等を踏まえて「軽井沢少年自然の家のあり方基本構想(案)」を取りまとめたことの報告がありました。令和5年度はこの基本構想を基に整備手法等の検討をするとともに、教職員や子どもたちの意見も取り入れながら、より詳細な基本計画を策定する予定であることが報告されました。

災害対策・ 危機管理特別委員会

地区防災計画とは、地域の共助による防災活動推進のため住民等が主体となって作る防災計画であり、区では避難所運営協議会単位での計画策定を支援していること。現在15地区のうち3地区のほか、大丸有地区で策定済みであるが、計画策定後も、毎年見直すなど継続的な取り組みが必要であること。一方、未策定地区については今

後、区が策定に向けて積極的な働きかけと支援を行い、特に避難所運営に関わる幅広い年代の方や女性の参画を働きかけていくこと等を確認しました。

議会のあり方 調査検討特別委員会

昨年12月8日に開催した「議会改革」に関する勉強会とこれまでの当委員会での調査内容の振り返りを行い、今後も議会改革の視点から権能を高めしていくための調査の必要性を再確認しました。また、他区から子ども議会に関する資料提供を受けて調査した結果、今後当区での子ども議会の実施検討に当たっては、区議会主導でありながらも、執行機関とともに研究課題としていく必要があることを確認しました。



予算特別委員会

全議員で構成する当委員会に審査を付託された5議案の審査経過及び結果は以下のとおりです。

令和4年度千代田区一般会計補正予算第4号は、「国・都補助金等過年度分精算金」、「障害福祉サービス」、「障害者の移動支援」及び「基金積立金」の追加として、57億2,394万3千円を計上するものです。また、「私立保育所等整備補助」、「いきいきプラザ一番町管理運営」、「バリアフリー歩行空間の整備」、「自転車通行環境整備」、「公園・児童遊園の整備」等について繰越明許費を定めるものです。

「**令和5年度各会計当初予算**」の4議案は、多岐にわたる分野の詳細な調査を行った3つの分科会からの調査報告を受けて、多くの事項について総括質疑を行いました。

〈当初予算案に対する討論〉

【反対の意見】

区民に寄り添うエッセンシャルワークを担う区職員に敬意を表するが、誤った情報で住民を二分してコミュニティを更に弱らせ、更にたくさんの地域課題をつくり出していく不毛な行政運営の先に信頼できる区政はない。まちづくりを「かくれみの」にした行政の天下りは、二番町や外神田一丁目の再開発問題とも通底していることを指摘しても問題意識が見えなかった。住民自治や民主主義を感じることはできない最も不幸な時代が今だと認識し、強く反対する。(小枝)

区民要望を反映した施策がいくつか盛り込まれたが、反対する理由の第1は、苦境に立たされている低所得世帯や小規模事業者に対し、暮らしや営業を直接支援する施策が極めて弱い。区民生活や事業者を目を向けた早急な具体的支援策を求める。第2に、再開発とまちづくりにおいて住民の合意形成が不十分である。現在進められているまちづくりでも徹底した話し合いを求める。第3に、低所得世帯の多くが加入する国民健康保険料の引き上げは許されない。よって、反対する。(牛尾)

区は、区民生活応援事業でスマートフォンを持っていない区民に対し、何の代替案も示さず、バツサリと切り捨てようとしている。神田警察通りの街路樹を守っている区民を『妨害者』と一方的に決めつけ、二番町や外神田一丁目の再開発についても地元住民の意

見を聞こうとせず、強行的に再開発・高層化に突き進もうとする態度はあるまじき姿である。介護保険や子どもの医療費についても『誰も取り残さない』どころか区民に真摯に向き合わない。よって、反対する。(岩田)

障害児の通所支援、医療的ケア児のショートステイなど、福祉サービスが一步進んだことは評価するが、重度障害児の保育機能と療育を兼ね備えた通所施設整備、障害児デイサービスの拡充、障害児を含めた子どもの入院時の食事代助成について調査検討の予算を組むべきだ。区民生活応援事業ではネット環境やIT機器操作に不慣れな高齢者、障害者、生活困窮者等の支援にはつながらない。誰ひとり取りこぼさないのなら、区民の声を真摯に聞くべきであり、反対する。(長谷川)

【賛成の意見】

20年ぶりの改定基本構想で掲げる「伝統と未来が調和し、躍進するまち」を目指すための過去最大規模の予算では、現況を踏まえた事業者支援予算が数多く計上されている。区民生活支援策では、コロナ禍や物価高で厳しい家計状況を支援するレシート活用事業が地域経済活性化の面からも期待される。完全に収束したとは言えない新型コロナや物価高騰の状況も予断を許さないが、区民に明るさと賑わい、元気と勇気を与えられる区政の展開を期待して、賛成する。(たかざわ)

第4次基本構想は「持続可能性とWell-Beingを柱とした基本構想」であると理解している。令和5年度予算はその実現に向けての初年度予算である。個別事業においては再生可能エネルギー電力への切替促進、带状疱疹ワクチン接種補助、放課後デイサービスの実施、はばたきプランの作成、DX・GXの推進など評価できるものである。予算執行に当たっては区政全般にわたって全ての区民がWell-Beingを実感できるよう事業を実施することを強く要望し賛成する。(大串)

令和5年度各会計予算は、消費者・商店街支援に力を入れ地域経済の立て直しに重点をおいた予算となっていることに加え、若年がん患者在宅療養支援や、養育費の確保など、対象者はそう多くないものの切実な状況にある方々への地道な福祉政策が増えていることを評価する。一方で、障害児の親の就労支援など課題が残るものもあり、予算執行に当たってはニーズを丁寧に聞きながら柔軟な対応により取り残される方がいないよう力を尽くすことを求め、賛成する。(岩佐)

第4次基本構想策定初年度予算の重点施策として、子どもたちの未来につながる取組みに期待する。発達に特性のある子どもたちや家族の支援について「特別支援教育に関する協議の場」が新設され、活用しやすい通学支援制度の再構築、デジタル地球儀やタブレットを活用した教育、デジタル格差解消も予定。地域支援では、まちのつながりを強化するデジタル助成やイベント支援なども丁寧に進められている。新基本構想を区民に分かりやすく可視化することを求め賛成する。(小野)

アフターコロナ、ウィズコロナ社会を見据えた中でも、デジタル化推進による区民生活の利便性向上は早急かつ着実に進めてほしい。施設整備費の高騰に伴う基金繰入金の大幅増のため、引き続き健全な財政運営を求める。外神田一丁目南部地区、二番町地区、神田警察通り整備事業は、引き続き地域の声に丁寧に耳を傾けて進めてほしい。区民の安全・安心を確保し、約20年ぶりの改定基本構想で掲げる「伝統と未来が調和し、躍進するまち」が、本予算を皮切りに実現されることを期待し、賛成する。(小林や)

本会議における討論

議員提出議案第1号
千代田区国民健康保険条例の
一部を改正する条例

否決

【反対の意見】

赤字補填のための法定外繰入を増やすことは国保加入者以外の方の税を投入することになり、公平性を欠くとともに、後年の保険料率に影響を及ぼす。区は保険料上昇による加入者の負担を可能な限り抑制するとともに、国から計画的解消を求められている法定外繰入金を拡大させないような努力を重ね、独自の保険料率を設定している。本議案はこうした取組みと逆行するもので適切ではないため反対する。(山田)

【賛成の意見】

賛成する第1の理由は、子どもの均等割全額免除により、子育て支援を推進するものになるため。国が導入した就学前の子どもの均等割半減は、極めて不十分。第2の理由は、本条例は、国保法第77条を活用することで国の交付金の減額理由にならないため。第3の理由は、子どもの均等割全額免除を約3,000万円の予算追加で実現できるため。令和5年度の区民税増収分は子育て支援や貧困対策に活用すべき。(木村)

本会議における討論

国民健康保険の子どもに係る
均等割額の軽減措置の対象拡充を
求める意見書

否決

【反対の意見】

国民健康保険は、地域住民を対象とする唯一の地域医療保険制度である。本提案は子どもに係る均等割軽減額の対象を広げるもので、その財源が必要であり、制度全般を俯瞰する視点が不足。国民健康保険は、他の保険制度と比べて公費負担額が突出しており、更なる財政措置は医療保険の公平の観点から矛盾が生じるため、慎重かつ丁寧な議論が求められるべき。よって、本意見書に反対する。(大坂)

【賛成の意見】

国民健康保険加入者の4割以上が無職者で、被雇用者でも負担能力の低い対象者が多い。にもかかわらず国民健康保険は加入者全員に保険料均等割額という定額の負担がある。そのため他の医療保険に比べ、特に子育て世帯にとっては保険料負担が重くなっている。国は、更なる子育て世帯負担軽減のため、均等割軽減の対象を広げる検討を行ってもよいのではないかと。以上の理由から本意見書に賛成する。(牛尾)

可決した決議

北朝鮮による弾道ミサイルの
発射に対して抗議する決議

全会一致

令和5年2月18日及び20日、朝鮮民主主義人民共和国による弾道ミサイルの発射が政府により確認された。

同国は、日本を含む全世界からの強い抗議要請にも関わらず度重なる弾道ミサイルの発射を行い、18日には我が国の排他的経済水域内へ着水したと見られ、看過できない極めて深刻な事態である。

これは、恒久平和を希求する全世界の人々の願いを蹂躪し、国際連合安全保障理

事会決議に違反する行為であり、国際社会の平和と安全を著しく損なうものである。

千代田区議会としては「国際平和都市千代田区宣言」のもと、このような平和と安全を脅かす暴挙を容認することはできない。

よって、今回の同国の行為に対して厳重に抗議する。

以上、決議する。

令和5年2月21日 千代田区議会

可決した意見書

学校給食費無償化に関する意見書

全会一致

本区では給食費だけではなく教育全体の課題と捉え、給食費約1年分相当の5万円の現金給付を所得制限なしで実施しています。

また、全国的にも公立小中学校の給食費無償化を実施、あるいは検討する自治体が増えています。

一方、恒久的な財源確保、私立学校との公平性、学校給食は保護者の負担とするという法的な問題から実施には慎重な自治体が多いのが現実です。

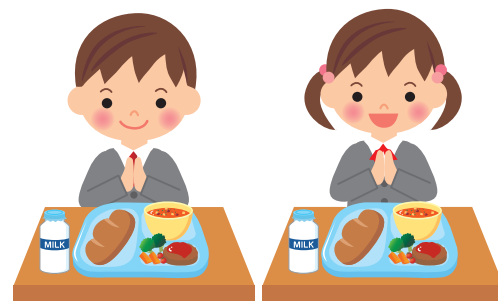
憲法第26条では「義務教育は、これを無償とする」としており、教科書と同様に食育である学校給食も無償にすることが望まれます。

よって、千代田区議会は国に対し、地域

格差が無いよう、全国的な学校給食費無償化に向けた法整備、支援を行うよう要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣



昨今の世界的な資源、原材料費高騰による物価上昇は区民生活を圧迫しています。特に子育て世帯の家計への影響は大きく早急な対策が求められています。

学校では給食を通じた食育が行われ、地域の伝統や日本の食文化をも伝えてきました。

可決した意見書

皇居周辺の濠や河川の浄化に向けた
対策強化を求める意見書

全会一致

市街化された都市において、都市河川やお濠等の水辺は、ゆとりと潤いのある良好な生活環境を確保するための貴重な資源です。特に千代田区では、歴史的な文化資源である江戸城跡を取り巻く濠と河川は、まちの景観を形づくる基盤であり、オープンスペースとしても貴重な財産です。

また、風格あるまちづくりを進めるには、濠や河川の水質改善を図り、周辺環境や景観等との調和に十分配慮し、人々が憩い、交流できる場とすることが大変重要であり、千代田区はそのために、水辺を魅力ある都市空間に再生する条例を制定しています。

これらを踏まえ、下記の事項について強く求めます。

- 1 濠や河川の水質改善や魅力ある水辺環境再生に向けて、関係する地域自治体や民間事業者、各種団体等、多様なステークホルダーの知見を集約し協働す

るために、連携を強化すること。

- 2 外濠の水質の現状や、その歴史的財産価値及び維持管理の重要性について理解を深め、水辺環境再生への関心を高めるためのイベントや広報活動等により広く情報発信を行い、都民・区民と共に歩むまちづくりを実現すること。
- 3 恒久的な水質改善の実現に向け、玉川上水等の活用による広域的な水の循環を促進する対策を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

(提出先) 国土交通大臣、環境大臣、東京都知事

記



令和5年第1回定例会 会期日程 (会期:2月8日~3月14日の35日間)

月/日	本会議・委員会関連等日程
2/8	議会運営委員会
	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)
9	議会運営委員会
15	議会運営委員会
	本会議(代表質問・一般質問)
16	議会運営委員会
	本会議(一般質問・議案の付託等)
	予算特別委員会
17	地域文教委員会
	保健福祉委員会
20	企画総務委員会
21	予算特別委員会
	議会運営委員会
	本会議(議案の議決等)
22	予算特別委員会(企画総務分科会)
	予算特別委員会(保健福祉分科会)
24	予算特別委員会(企画総務分科会)
	予算特別委員会(地域文教分科会)

月/日	本会議・委員会関連等日程
2/27	予算特別委員会(地域文教分科会)
	予算特別委員会(保健福祉分科会)
28	環境・まちづくり特別委員会
	災害対策・危機管理特別委員会
3/1	公共施設調査・整備特別委員会
	議会のあり方調査検討特別委員会
3	議会運営委員会
	環境・まちづくり特別委員会
6	予算特別委員会(総括)
7	予算特別委員会(総括)
8	企画総務委員会
	保健福祉委員会
	議会運営委員会
9	地域文教委員会
10	議会運営委員会
13	議会運営委員会
14	議会運営委員会
	本会議(議案の議決等)



閉会中の主な活動 (12月~2月)

月/日	日程
12/13	政務活動費交付額等審査会
15	政務活動費交付額等審査会
21	保健福祉委員会
23	議会運営委員会
	企画総務委員会
1/17	議会運営委員会
19	環境・まちづくり特別委員会
25	議会運営委員会(開会に至らず)
	全員協議会

月/日	日程
1/26	企画総務委員会
27	保健福祉委員会
30	地域文教委員会
2/1	〈令和5年第1回定例会告示日〉
	議会運営委員会
7	議会運営委員会
	環境・まちづくり特別委員会



委員会で取り扱った請願・陳情 (令和4年12月24日～令和5年4月6日)

※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請願・陳情名 (受付順に掲載)	送付委員会	審査状況 (令和5年4月6日時点)
外神田一丁目1、2、3番地市街地再開発事業の再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会 (企画総務委員会から送付替え)	審査終了
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
清掃事務所を区のものとして建設するよう求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
再開発共同化に係る合意形成のルールを条例として作ることを求めます。	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
外神田一丁目南部地区再開発事業の早期推進を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
六番町偶数番地地区の地区計画に関する陳情書	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
外神田一丁目南部地区再開発事業の慎重な調査・再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
外神田一丁目再開発の速やかな都市計画決定を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
外神田のしゃれた街並み条例の指定は保留、見直しをお願いいたします。	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
外神田一丁目再開発計画の再考を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
意向調査の実施に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
外一再開発、法17条手続き検討前のご調査ご議論を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
外神田一丁目南部地区再開発の都市計画早期決定を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
公聴会の開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
外神田一丁目再開発における区有財産の取り扱いについて説明会の早期開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
外神田一丁目南部地区再開発中止を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
千代田区外神田一丁目再開発事業の都市計画決定に関する公聴会の開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
都市再開発法3条3号に関する区の認識の確認及び住民に対する説明・協議の機会をつくることを求める陳情書	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
日本テレビ通り沿道まちづくりに関するオープンハウスについての陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
日本テレビ再開発提案に関する説明会の再度開催を求める陳情書	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
日本テレビ再開発提案に関する再度の説明会に係る質問や意見等の陳情書	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
日本テレビの都市計画提案及び二番町地区計画の変更に関して、都市計画法第16条第1項の公聴会の開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
「二番町地区 地区計画の変更に係る素案」に関する事実関係及び区の見解を明らかにするように求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
二番町地区地区計画変更(素案)に関する公聴会について	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
公聴会の開催にあたっての陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
日本テレビ通り沿道まちづくりに関するオープンハウスのアンケートの詳細な集計報告を求める陳情書	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
公聴会の開催方法に関して審議する環境・まちづくり特別委員会の早期開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
「日本テレビ通り沿道まちづくりに関するオープンハウスについての陳情」に対する回答等を受けての行政の在り方を問う陳情書	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
「千代田区議会は、東京地方裁判所で「詐欺罪相当」の判決を受けた下記の区議会議員の辞職勧告決議を行うことを要請する」の陳情	議会運営委員会	審査終了
説明会の再度開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
公聴会を現地傍聴にすることを求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
日本テレビ通り沿道まちづくりに係る説明会等の在り方についての陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
神田警察通りⅡ期工事の中断と調整を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
公聴会に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
神田警察通りⅡ期工事の住民アンケートについて調査を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
公聴会における意見の反映等に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	審査終了
令和5年千区議会第160号陳情に対し迅速な調査検討を求める陳情	議会運営委員会	審査終了
千代田区立富士見小学校体育館照明設備LED化等改修工事の工期短縮を求める陳情	地域文教委員会	審査終了



議案の審議結果等 (令和5年第1回定例会)

可(可決) 否(否決)

○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

議員名等 ※議員名の下段は、会派名略称	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
						小野 なりこ	岩佐 りょう子	長谷川 みえこ	小枝 すみ子	秋谷 こうき	岩田 かずひと	桜井 ただし	欠員	西岡 めぐみ	飯島 和子	牛尾 こうじろう	木村 正明	大坂 隆洋	池田 とものり	山田 丈夫	欠員	永田 壮一	たかざわ 秀行	米田 かずや	大串 ひろやす	林 則行	嶋崎 秀彦	河合 良郎	小林 やすお	小林 たかや		
委員会 提出 議案	学校給食費無償化に関する意見書	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
議員 提出 議案	千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	23	22	6	16	否	×	×	○	○	×	○			×	○	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	3/14	
	北朝鮮による弾道ミサイルの発射に対して抗議する決議	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	2/21
	国民健康保険の子どもに係る均等割額の軽減措置の対象拡充を求める意見書	23	22	6	16	否	×	×	○	○	×	○			×	○	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	3/14	
	皇居周辺の濠や河川の浄化に向けた対策強化を求める意見書	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
区長 提出 議案	千代田区副区長の選任の同意について	23	22	17	5	可	無記名投票					無記名投票					無記名投票					3/14										
	千代田区行政監察員の選任の同意について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区行政監察員の選任の同意について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	令和4年度千代田区一般会計補正予算第4号	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	2/21
	令和5年度千代田区一般会計予算	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×			○	×	×	×	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	令和5年度千代田区国民健康保険事業会計予算	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×			○	×	×	×	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	令和5年度千代田区介護保険特別会計予算	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×			○	×	×	×	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	令和5年度千代田区後期高齢者医療特別会計予算	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×			○	×	×	×	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区行財政改革に関する基本条例を廃止する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区副区長定数条例の一部を改正する条例	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×			○	×	×	×	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	2/21
	千代田区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区手数料条例等の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区印鑑条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区都市公園条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区第4次基本構想	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
	千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×			○	×	×	×	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
和泉公園周辺地区道路整備工事請負契約の一部変更について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14	
報告	お茶の水橋補修補強工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										2/16					
	外濠公園総合グラウンド改修工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										2/16					
	明大通りII期歩道拡幅工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										2/16					
	専決処分により訴訟上の和解をした件について																										2/16					

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数23名 欠員2名

◇ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民) / 日本共産党区議団(共産) / 公明党議員団(公明) / 千代田を紡ぐ会(紡ぐ会) / ちよだの声(声) / 立憲民主党 新生ちよだ(立民) / 立憲政策フォーラム(立憲) / 都民ファーストの会 千代田区議会(都ファ) / 千代田至誠会(至誠会)

区議会だより 編集委員会の構成 ◎委員長 ○副委員長	◎山田 丈夫(自民)	小野 なりこ(都ファ)	西岡 めぐみ(自民)	池田 とものり(自民)
	○河合 良郎(自民)	長谷川 みえこ(紡ぐ会)	牛尾 こうじろう(共産)	米田 かずや(公明)
		岩田 かずひと(立民)	大坂 隆洋(自民)	

ホームページアドレス https://gikai-chiyoda-tokyo.jp	メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp	公式Twitter @Chiyoda_Kugikai
<p>※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。</p>		